

首都直下地震等の被害想定の見直し

現在の被害想定（首都直下（H24）、南海トラフ（H25））

最大震度 7 （首都直下地震）

死者 約 1 万人 （首都直下地震）

建物被害 約 30万棟 （首都直下地震）

最大津波高 約 30 m （南海トラフ地震）

各種防災対策を推進

前回被害想定から、約10年が経過

社会基盤の整備が進展。一方、人口構造が変化

耐震化率（住宅） 81.2% ⇒ 92.0%

高齢化率 20.7% ⇒ 23.4%

大規模地震災害の最新の知見等が蓄積

熊本地震など大規模地震が全国で頻発****

南海トラフ地震の発生確率の上昇

こうした状況を踏まえ、被害想定を見直し※

※来年度当初を目途

都の防災対策を強化